



令和6年度 四国大学 学生G P 企画書

応募内容	①教育・研究	②地域貢献	③100周年事業	④その他
------	--------	-------	----------	------

※上記は枠内のいずれかを選択してください。（複数選択可）

プロジェクト名 <small>上段にメインタイトル 下段にサブタイトル (あれば記入)</small>	四国大学ホームページお助け隊（ホームページ制作支援で地域貢献）					
プロジェクト 代表者	ふりがな	しこく たろう		学生 番号	○○○○○○○○○○	
	氏名	四国 太郎				
	研究科 ・学部・ 短期大学	○○学部	学科・課程 ・専攻	○○学科	学年	○
	携帯電話	(090) 1234 - 1234		メール	shikoku-tarou@shikoku-u.ac.jp	

(プロジェクト概要) * 100文字程度で簡潔に記載してください。

本プロジェクトは経営情報学部の学生を中心として、ICT活用スキルを持つ学生を組織し、地域企業と地域産業界の発展のために活動を行うものである。具体的には、企業の広報・販売戦略にインターネットの活用を必要としているが、それを実施する余裕がない徳島県の中小・零細企業を対象として、ホームページ制作を中心としたICT活用支援を実施するものである。

支援教員	ふりがな	よしのがわ さぶろう		内線	9999	学部・ 学科等	経営情報学部経 営情報学科
	氏名	吉野川 三郎					

プロジェクト組織（プロジェクト代表者など主要メンバー） *その他構成員は別紙に記入すること

役職	氏名	学生番号	学部・学科	学年
代表	四国 太郎	201831666	経営情報学科	4
副代表	○○ ○○	201937555	メディア情報学科	3
副代表	○○ ○○	201931665	経営情報学科	4
会計	○○ ○○	201837556	メディア情報学科	3

プロジェクト必要経費（企画書3に内訳記載）

備品	用品費	消耗品費	旅費	その他	合計
50,000		10,000	60000		120,000

3. 応募の動機

次の3点について焦点を絞り、具体的かつ明瞭に記述してください。

①背景（本プロジェクトを着想に至った経緯、これまでの成果を進展させる場合にはその内容など）

日本経済は、デフレ、円高、東北大震災、原子力事故で戦後最悪の危機的な状況である。その中でも地方の中小・零細企業の経営状況は厳しく、徳島県では80パーセント以上の企業が赤字であると新聞紙上で報道されている。また、中小・零細企業においても、最近ではインターネットを使った企業と商品のPRおよび販売促進なしでは、厳しい競争に生き残っていけない状況となっている。

②目的（何をどこまで形にしようとするのか）

大学で修得したICT利活用技術を駆使して、県内中小・零細企業のホームページ制作を中心としたICT利活用支援を実施することにより、地域企業及び地域産業界の発展に貢献することを目的とする。

③特色と効果（プロジェクトの特色と結果（効果、意義）

本プロジェクトの特徴は次の通りである。

①学生による地域企業発展のための支援活動

学生が大学で学んだICT利活用技術及び経営関連知識を使って、苦境に立たされている地域の中小・零細企業の発展のためにICT利活用支援活動を行うこと。

②人間成長の機会

プロジェクトのメンバーが企業を訪問し、ホームページ作成のための打ち合わせを綿密に実施（1企業6回程度）することにより、ビジネスの現場で現実の課題に取り組むことができるので、従来のインターンシップよりもはるかに効果的な職業体験の場となるであろう。

予想される結果は次の通りである。

①支援対象企業の発展

支援対象企業の経営上の大きなマイナス要因であったICT利活用が推進され、企業イメージと売上が向上することで、本プロジェクトの目標である地域貢献が達成できるであろう。

②プロジェクトメンバーの人間成長と就職力の向上

プロジェクトメンバーの人間力と就職力が飛躍的に高まり、それぞれが希望する企業に就職できる期待がある。以上、地域の発展のためにも、自分たちの人間成長のためにも、本プロジェクトの採択を切望するものである。

プロジェクト名	四国大学ホームページお助け隊（ホームページ制作支援で地域貢献）
---------	---------------------------------

4. プロジェクトの計画・方法等

計画・方法

本欄には、上記の目的を達成するためのどのような計画に沿って活動するのか、具体的かつ明瞭に記述してください。

計画・方法（目的を達成するための具体的な計画・方法、プロジェクト遂行に関する構成員・協力者の役割分担やスケジュールを時系列で）

① 本プロジェクトの広報と募集（実施時期：11月 担当：四国）

本プロジェクトを地域の方々に広く知っていただくために、大学のホームページに掲載していただく。
また、本プロジェクトの利用企業の募集を行うために、徳島新聞に記事掲載の依頼を行う。

② ICT利活用支援対象企業の選定（実施時期：12月 担当全員）

応募企業の中から3社を選定する。ホームページの制作チームは3チームとし、1チーム2名体制で 取り組む。

③ 企業との打ち合わせ（実施時期：12月 担当：〇〇、〇〇、〇〇、〇〇、〇〇、〇〇 必要経費：5（交通費）、1（備品））

チーム毎に企業を訪問し、現状調査、聞き取り調査及びホームページコンテンツの打ち合わせを行う。

④ 制作（実施時期：12月～2月 担当：〇〇、〇〇、〇〇、〇〇、〇〇、〇〇 必要経費：2,3,4（消耗品））

制作チーム毎に担当企業のホームページを制作する。制作のためのコンピュータと制作用ソフトウェアは経営情報学部のものをらせていただく。（学部のご了解をいただいている）

⑤ ホームページの試験運用（実施時期：2月 担当：〇〇、〇〇、〇〇、〇〇、〇〇、〇〇）

インターネット上に制作したホームページをアップし、最終テストを実施する。

⑥ ホームページの本格運用（プロジェクトの終了）

企業に用意していただいたレンタルサーバに我々が制作したホームページデータをアップし、ホームページを本格運用する。

プロジェクト名	四国大学ホームページお助け隊（ホームページ制作支援で地域貢献）
---------	---------------------------------